

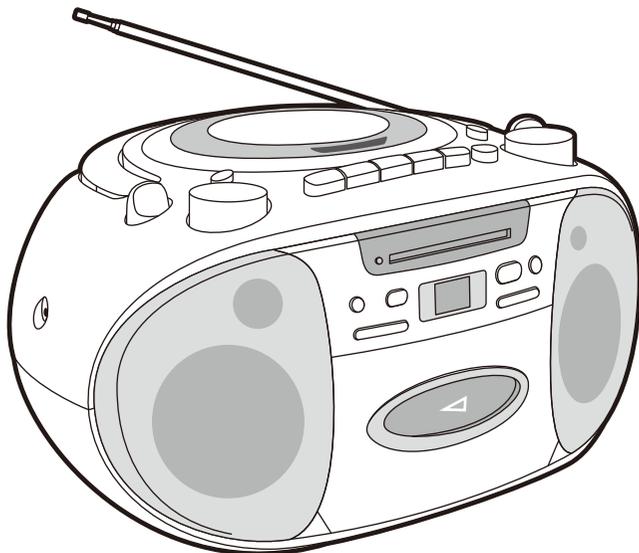
家庭用

日本国内専用
Use only in Japan

CDステレオラジカセ

品番:CRXM01WH

取扱説明書



このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本製品を十分にご理解いただき、末永くご愛用いただくために

この取扱説明書をよく読んでいただき、正しくご使用下さいますようお願い申し上げます。

もくじ

●使用上の注意	1・2	●マイクの使い方	12
●お使いになる前に(電源について)	3	●ヘッドホンの使い方	12
●各部の名称	4	●こんなときは?	13
●CDを聴く	5・6・7	●お手入れ方法	14
●ラジオを聴く	8	●仕様	14
●カセットテープを聴く	9・10	●アフターサービスについて	15
●カセットテープに録音をする	11	●保証書	15

使用上の注意

正しく安全にご使用いただくために必ずお読みください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。
--	---	---	--

 警告	 分解禁止	発火・感電・故障の原因となりますので絶対に分解や改造等を行わないでください。
	 禁止	お子様だけで使用させたり、乳幼児の手の届く場所で使用、保管をしないでください。
	 禁止	交流100V以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
	 禁止	電源は他の配電器具(タップなど)を使用せず、定格15A以上のコンセントで単独使用してください。併用するとコンセントや配電器具のケーブルが異常発熱して、発火する恐れがあります。
	 禁止	電源コードを傷つけたり、破損・切断・加工しないでください。また電源コードを束ねたり、延長、固定、タコ足配線で使用しないでください。発熱などにより火災・故障の原因になります。
	 強制	感電や火災の原因となりますので電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。
	 強制	電源コードが傷んでいる場合は直ちにご使用を中止してください。火災や感電の原因になります。
	 電源プラグを抜く	本体や電源コードが異常なとき(煙が出ている、異常に熱い、変なにおいが出るとき)は、直ちにご使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
	 電源プラグを抜く	本製品が破損した場合はそのままご使用にならず、十分注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。
	 電源プラグを抜く	感電、けがの原因となりますので、お手入れの際は必ず電源プラグを抜いてから行ってください。また雷が鳴っている時は電源プラグに触れないでください。落雷すると感電する恐れがあります。
	 ぬれ手禁止	電源プラグを濡れた手で触れないでください。感電やけがの原因になります。
	 水ぬれ禁止	本体を水で洗ったり、濡らしたり、水滴のかかる場所に置かないでください。雨天・降雪時の窓辺でのご使用や設置にはご注意ください。また、高温多湿な場所でご使用にならないでください。内部に水が入ると火災・感電・故障の原因になります。
	 禁止	本製品の電源仕様は日本国内専用設計/製造されており、日本国外では電源電圧が異なりますのでご使用できません。指定以外の電源電圧で使用すると、火災・感電・故障の原因になります。 This product is designed for use in JAPAN only and can not be used in any other countries.

 注意	 禁止	本製品は家庭用です。業務用などに使用しないでください。故障の原因になります。
	 禁止	本体を持ち運ぶ時は過度の衝撃や振動を与えないでください。故障や破損の原因になります。
	 禁止	不安定な場所で使用しないでください。火災や破損、製品の落下により、けがやけどをする原因になります。
	 禁止	熱に弱いテーブルクロスなどの敷物、たたみやじゅうたんの上、また熱に弱いテーブルやワゴンの上、カーテンの近くなどで使用しないでください。変形、変色、跡が付く、または火災につながる恐れがあります。
	 禁止	火気（コンロ・ストーブ）などの近くや水・油のかかるところでは使用しないでください。火災の原因になります。
	 !	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って抜いてください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	 !	電源コードに足を引っかけないでください。製品が落下して、けがやけど・故障の原因となります。
	 禁止	仕様の定格入力を超えた状態や、音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、感電、火災の原因になります。
	 !	本製品を使用中に発生したデータなどの消失についての保証はいたしかねます。定期的にバックアップなど対策を行ってください。
	 !	お手入れの際は、安全のため必ず電池を取り外してください。
	 !	電池の液体が皮膚や衣類に付着してしまった場合は多量の水で洗い流してください。放っておくと皮膚や衣類をいためる恐れがあります。
	 禁止	電池を入れる時は電極を間違わないようご注意ください。また使い切った電池はすぐに取りはずし、新しい電池と交換してください。長期間使用しない場合は電池を取りはずしてください。液漏れや発熱、破裂などでケガをする恐れがあります。
	 禁止	周囲の音が聞こえないと危険な場所（路切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道など）では使用しないでください。事故の原因になります。
	 禁止	電磁波を発生させる機器（携帯電話、テレビ、モニターなど）に近づけないでください。電波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
	 禁止	使用時以外は電源プラグを抜いてください。けがやけど、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
 禁止	本体の丸洗いや、本体に水を入れないでください。感電や故障の原因になります。	
 !	ヘッドホン使用時は音量を上げすぎないでください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。	
 禁止	CDプレーヤーのレンズをのぞき込まないでください。レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。	
 禁止	窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。故障・火災の原因になります。	

お使いになる前に(電源について)



- ※電源コードを抜き差ししたり、乾電池を出し入れするときは、電源が切れた状態で行ってください。
- ※電源を入れる前に音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

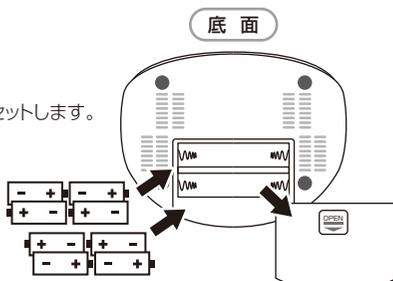
乾電池での使用方法

- ①本体底面にある、電池カバーを開けます。
- ②単1形アルカリ乾電池8本を「+」の向きに注意してセットします。
- ③電池カバーを確実に閉めます。

- ※濡れた手で電池交換を行わないでください。
- ※長時間使用するときや大切な録音をするときは、付属の電源コードを使用してください。

【乾電池の交換目安】

CDやテープが正常に動作しない音が小さい雑音が多いときは乾電池の取替え時期です。新しい乾電池と取替えてください。



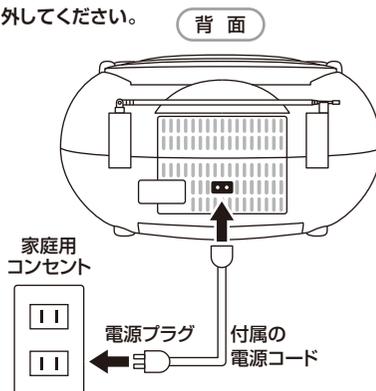
- 乾電池の破損・液漏れ防止のために次のことはお守りください。
- ※通電状態で長時間未使用の場合、液漏れを起こすことがあります。長時間使用しないときや、いつも家庭用コンセントで使用するとき、乾電池を取り出してください。
- ※新しい乾電池と古い乾電池、異なった種類は混ぜないでください。
- ※+プラスと-マイナスは正しく入れてください。
- ※火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。

家庭用電源での使用方法

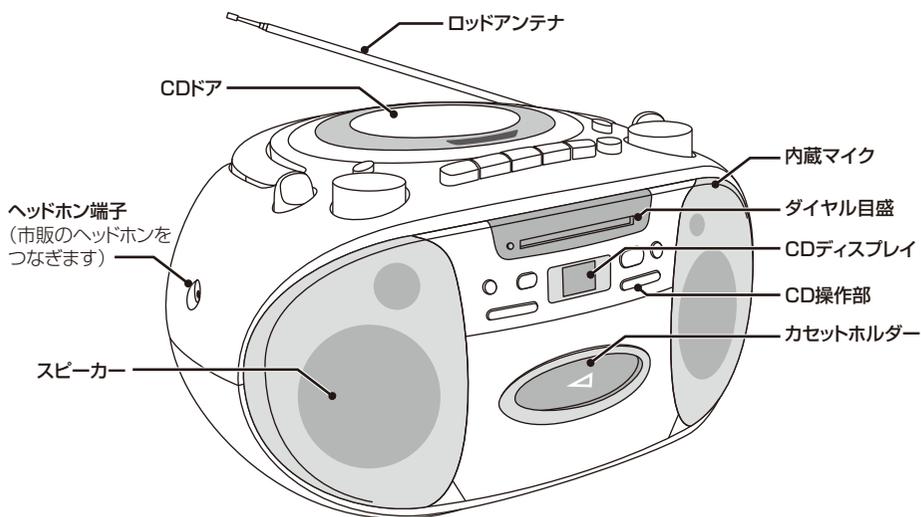
- ①付属の電源コードで本機の電源プラグと家庭用コンセントを接続します。
 - ※本機を使用しないときは電源プラグを家庭用コンセントから外してください。
 - ※乾電池で使用するときには電源プラグを抜いてください。
- 電源プラグが接続されていると、乾電池では使えません。



- ※付属の電源コードは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属のコードをお使いください。
- また、付属の電源コードは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発熱・火災の原因となる場合があります。



各部の名称



上 面

低音強調ボタンを押し込むと、
低音が強調された音を楽しめます。
※解除するにはボタンをもう一度押します。
※CD、ラジオ、カセットテープの
いずれの機能でも有効です。

「低音強調」ボタン

「機能切替」スイッチ

音量ダイヤル

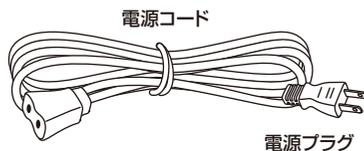
ハンドル

CD扉 開く
ボタン

「ラジオバンド」
スイッチ

カセット操作部

付属品

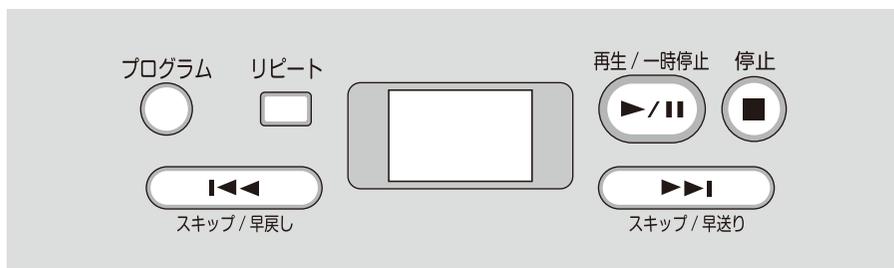


CDを聴く①

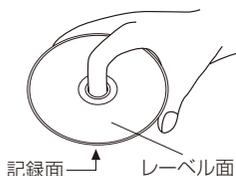


- ※CDドア内部に、CD保護台紙がはめられています。ご使用前には取り外してください。
- ※円形以外（ハート型など特殊形状）のディスク、ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。
- ※CDプレーヤーのレンズが結露したり、水滴がついたままになっていると正しく演奏できない場合があります。
- ※CDプレーヤーのレンズにほこりがつかないように、使用しないときはCDドアを閉めておいてください。また、レンズにさわらないでください。
- ※本機は、CD-R/CD-RW録音機器で作成した音楽用CD-R/CD-RWディスクの再生も可能です。ただし、ディスクや記憶に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
- ※CD-R/CD-RWを入れた場合、演奏できる状態になるまで10秒前後かかります。
- ※コピーガード付のCDは再生できない場合があります。
- ※直接音楽ファイルを記録したディスク（MP3ディスクやWMAディスク等）は再生できません。
- ※再生面やラベル面に、紙やテープなどを貼らないでください。また、ラベルがはがれたCDは使用しないでください。

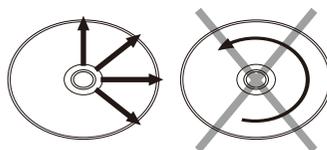
CD操作部



CDの取り扱いについて



※記録面に触れないように、CDの端を持ってください。



※CDに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、中心から端へとふき取ってください。

CDを聴く②

① 「機能切替」を「CD」にする。

② 「CD扉 開く」ボタンを押して
CDドアを開けディスクを入れる。
CDシングルもそのまま使えます。

[CDディスプレイ]



総曲数が
表示されます。



③ CDドアを閉じる。

CDディスプレイに総曲数が表示されます。

④ CD操作部の「再生/一時停止 ▶/||」ボタンを押す。

1曲目から演奏が始まります。

[CDディスプレイ]



⑤ 「音量ダイヤル」で音量を調整してください。

⑥ 演奏を止めるにはCD操作部の「停止 ■」ボタンを押します。

一時的に停止させたいときは「再生/一時停止 ▶/||」ボタンを押します。
曲番号が点滅します。もう一度押すと演奏に戻ります。

一時停止中は
局番号が点滅します。

⑦ 聴き終わったら「機能切替」を「テープ 電源切」にして電源を切ります。

曲の頭を探す(スキップ)

● CD演奏中に「スキップ/早送り ▶▶|」または
「スキップ/早戻し |◀◀」ボタンを押すと、前後の曲の頭出しができます。

|◀◀ 演奏中の曲の頭に戻る(2回目移行は押すたびに前の曲の頭に戻る)

▶▶| 次の曲の頭に進む。

● 演奏していない、または一時停止中に曲を探すには、
「スキップ/早送り ▶▶|」または「スキップ/早戻し |◀◀」ボタンを押します。

1回押すごとにそれぞれの曲の頭に移動します。

聴きたい曲の番号を選んだら、「再生/一時停止 ▶/||」ボタンを押して演奏を始めます。

早送り・早戻し

● 早送り

演奏中に「スキップ/早送り ▶▶|」ボタンを押し続けると、その間早送りします。

● 早戻し

演奏中に「スキップ/早戻し |◀◀」ボタンを押し続けると、その間早戻しします。

● ボタンから指を話すと通常の演奏に戻ります。

CDを聴く③

リピート演奏

演奏中に「リピート」ボタンを押します。

- 1回押すと演奏中の曲を繰り返して演奏します。
CDディスプレイ中央の「1」表示が点滅します。
- 2回押すと全曲繰り返して演奏します。
CDディスプレイ中央の「1」表示が点灯します。
- 3回押すと通常の演奏になります。

【CDディスプレイ】



↑点滅

1曲繰り返す

【CDディスプレイ】



↑点灯

全曲繰り返す

プログラム演奏

お好みの順番で演奏ができます。

20曲まで選曲できます。

- 1 停止状態で「プログラム」ボタンを押す。

プログラム番号が点滅表示されます。

※プログラム設定はCDプレイヤーが停止している状態でのみ可能です。

- 2 「スキップ/早送り ▶▶」または「スキップ/早戻し ◀◀」ボタンで曲番号を選ぶ。
曲番号が表示されます。

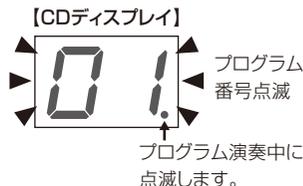
- 3 「プログラム」ボタンを押す。

プログラム番号が点滅表示されます。

- 4 ② ③ を繰り返して、2曲目以降をプログラムする。

- 5 「再生/一時停止 ▶/||」ボタンを押すとプログラムした順に演奏を始めます。

- プログラム演奏停止中に「プログラム」ボタンを押すと、プログラムした順に曲番号が表示されます。
- プログラム内容はCDドアを開けるか、プログラム演奏停止中に「停止 ■」ボタンを押すと取り消されます。



CDディスプレイに「No」と表示される時は、次の項目を確認してください。

- CDディスクの裏表を間違えていませんか？
- レンズが汚れていませんか？
- CDディスクが汚れていませんか？

正常に作動しているときは、CDディスプレイに曲数が表示されます。



ラジオを聴く



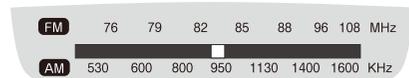
- ※テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離れてご使用ください。
- ※持ち運ぶときは、目をついたり危険ですので、ロッドアンテナを縮めた状態で持ち運んでください。

1 「機能切替」を「ラジオ」にする。

2 「ラジオバンド」スイッチで「FM」・「AM」のいずれかを選ぶ。



3 ダイヤル目盛を参考にしながら「選局ダイヤル」で聴きたい局を選ぶ。



ダイヤル目盛

4 ラジオを止めるには「機能切替」を「テープ 電源切」にして電源を切ります。

設置場所について

ラジオをきれいな音で聴くには、なるべく窓際の電波の届きやすいところに置いてご使用ください。

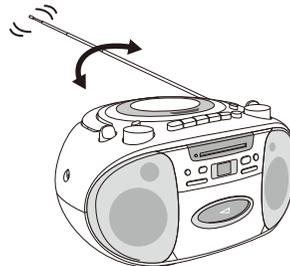
●AMの場合

本体を動かし、もっとも良く聴こえるところに設置してください。



●FMの場合

ロッドアンテナを伸ばし、長さ・方向・角度を変えて、もっとも良く聴こえる方向に向けてください。



受信電波の弱い所では、ステレオランプが点灯していても使用しているうちに消灯する場合があります。その場合は、ラジオの受信感度の良い場所に移してご使用ください。

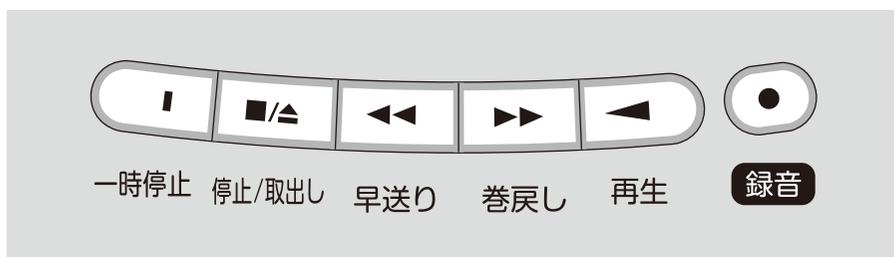
カセットテープを聴く①

※カセットテープ自体の回転が重たい場合にはデッキのピンチローラーにテープが絡む場合がありますので次のような時にはご注意ください。



- カセットテープケースに歪みや変型がある場合
 - 長年の使用でテープが劣化し、テープに波打ち伸びがある場合
 - 寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだためテープ全体に結露した場合
 - テープがひどく汚れ回転が重い場合
- ※「早送り ◀◀」「巻戻し ▶▶」中に「再生 ◀」ボタンを押さないでください。
必ず「停止/取出し ■/▲」ボタンを押して解除してください。
- ※「早送り ◀◀」「巻戻し ▶▶」ボタンでテープが最後まで巻き取られたら
必ず「停止/取出し ■/▲」ボタンを押して解除してください。

テープ操作部



① 「機能切替」を「テープ 電源切」にする。

② テープ操作部の「停止/取出し ■/▲」ボタンを押し、カセットホルダーを開き、カセットテープを入れてカセットホルダーを確実に閉める。



③ テープ操作部の「再生 ◀」ボタンを押す。

テープを早く送るときは「早送り ◀◀」ボタンを押します。

テープを巻き戻すときは「巻戻し ▶▶」ボタンを押します。

④ テープを止めるときはテープ操作部の「停止/取出し ■/▲」ボタンを押します。
一時的に停止させたいときは、「一時停止 ||」ボタンを押します。

オートストップ機能について

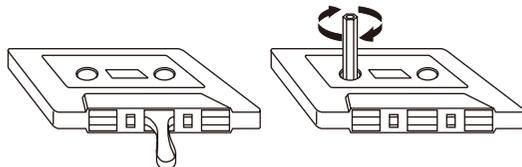
再生・録音状態のときテープが最後まで巻き取られると自動的に「再生 ◀」ボタンが解除され、電源が切れるようになっています。

カセットテープを聴く②

カセットテープについて

取扱上の注意点

- テープのたるみは、テープの巻きつきや切断の原因になります。
- テープがたるんでいないかどうかを確かめ、たるんでいる場合は鉛筆などで必ず直してからご使用ください。



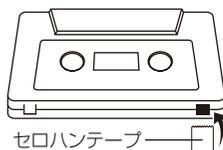
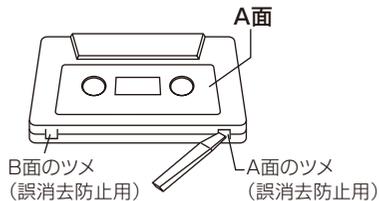
- カセットテープを入れたままにしたり、再生/録音状態のまま電源を切らないでください。からみや巻きつきの原因となります。テープは必ず取り出して保管してください。
- テープの破損を避けるため、大切なテープやオリジナルテープは必ずダビングし、ダビングしたテープを本機でお使いください。

録音時の注意点

- ツメを折ってあるテープは録音ボタンの操作ができません。無理に押しつくと故障する場合がありますのでご注意ください。
- ノーマルテープをお使いください。また、90分(片面45分)を超えるテープの使用はおやめください。他のテープに比べ非常に薄いため、伸びたり回転部分に巻き込まれやすくなります。
- ハイポジション、メタルテープには録音できません。
- テープ両端にあるリーダーテープ部分(透明テープ部分)は録音できません。録音前にこの部分を送っておきましょう。

大切な録音を消さないために

- カセットのうしろ側にある「ツメ」を折っておくと、間違えて大切な録音を消さずに済みます。
- 再び録音したい場合は、折ったツメの部分にセロハンテープなどを貼りつけて、穴をふさいでください。



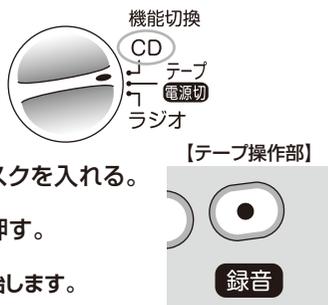
カセットテープに録音をする



- ※「録音 ●」ボタンを押すと「再生 ◀」ボタンも一緒に押し込まれます。テープが入っていないときや、カセットテープ消去防止用のツメが折れているとき、「録音 ●」ボタンは押し込められません。無理に押さないでください。
- ※録音中は電源を切らないでください。故障の原因となります。
- ※大切な録音をするときは、途中での電池切れを防ぐため、家庭用電源での録音をお勧めします。

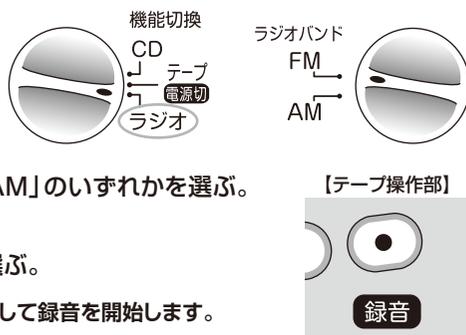
CDからの録音

- 1 カセットテープを入れる。
- 2 「機能切替」を「CD」にする。
- 3 「CD扉 開く」ボタンを押してCDドアを開けディスクを入れる。
- 4 CD操作部の「再生/一時停止 ▶/||」ボタンを押す。
- 5 テープ操作部の「録音 ●」ボタンを押して録音を開始します。
- 6 録音を止めるにはテープ操作部の「停止/取出し ■/▲」ボタンを押します。
一時的に停止させたいときは「一時停止 ||」ボタンを押します。
- 7 録音が終わったら「機能切替」を「テープ 電源切」にして電源を切ります。



ラジオからの録音

- 1 カセットテープを入れる。
- 2 「機能切替」を「ラジオ」にする。
- 3 「ラジオバンド」スイッチで「FM」・「AM」のいずれかを選ぶ。
- 4 ダイヤル目盛を参考にしながら「選局ダイヤル」で録音したい局を選ぶ。
- 5 テープ操作部の「録音 ●」ボタンを押して録音を開始します。
- 6 録音を止めるにはテープ操作部の「停止/取出し ■/▲」ボタンを押します。
一時的に停止させたいときは「一時停止 ||」ボタンを押します。
- 7 録音が終わったら「機能切替」を「テープ 電源切」にして電源を切ります。



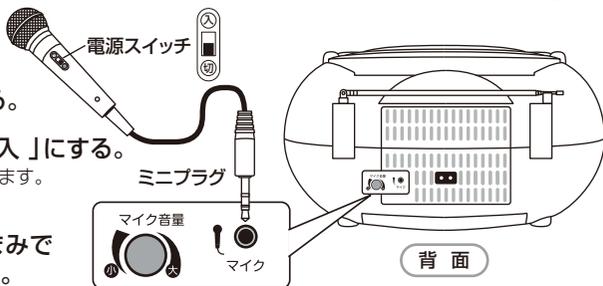
※あなたが録音物から録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

マイクの使い方



- ※マイクを使わない時は、マイクを外しておいてください。
- ※マイクを使用中、ハウリング(ピーという音)が起きたらマイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。
- ※内蔵マイクから録音するときは、マイクに近づいて録音してください。マイクから離れすぎると、うまく録音されない場合があります。

- 1 本体背面のマイク端子に付属のマイクをつなぐ。
- 2 「機能切替」を「CD」にする。
- 3 マイクの電源スイッチを「入」にする。
※カセットテープが無くても動作します。
※CD再生中でも、動作します。
- 4 本体背面のマイク音量つまみでマイクの音量を調節します。



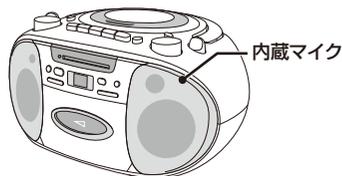
CDとマイクからの録音

CDを再生しながらCDとマイクからの音をカセットテープに録音できます。

- 1 録音可能なテープを入れる。
- 2 「機能切替」を「CD」にする。
- 3 CD操作部の「再生/一時停止 ▶/||」ボタンを押し、テープ操作部の「録音 ●」ボタンを押すと録音されます。

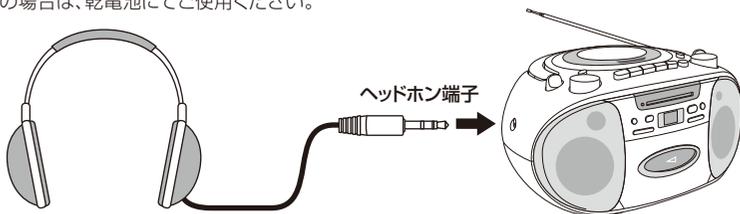
マイク/内蔵マイクからの録音

- 1 録音可能なテープを入れる。
- 2 「機能切替」を「テープ 電源切」に合わせ、「録音 ●」ボタンを押すと録音されます。



ヘッドホンの使い方

- 別売のステレオヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)をヘッドホン端子につなぎます。
※ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからの音は聞こえなくなります。
※ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
※家庭用電源でのご使用の際は、ヘッドホンでお聴きになると、ハム音(ラジオなどの音声に混じって聞こえる「ブーン」という音)が耳障りになることがあります。その場合は、乾電池にてご使用ください。



こんなときは？

故障かな？と思われたときは次の点をお調べください。

共通部	電源が入らない	電源コードがはずれて(ゆるんで)いませんか。 乾電池は正しく入っていますか。 乾電池が消耗していませんか。	
	音が出ない	音量が最小になっていませんか。 ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。	
CD部	CDの再生が始まらない	CDが裏返しに入っていないませんか。 CDがひどく汚れていませんか。 規格外のCDが入っていませんか。 ※レンズが汚れていませんか。 CD扉がしっかりと閉まっていますか。	
		CDの音が出ない	機能切替スイッチが別の機能になっていませんか。
		CDの音がとぶ	一時停止状態になっていませんか。
			結露状態になっていませんか。 ※レンズが汚れていませんか。 強い振動を与えていませんか。 CDに大きなキズやひどい汚れはありませんか。
	ラジオ部	ラジオに雑音が入る	近くで携帯電話を使用していませんか。 テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。
		カセットデッキ部	
カセットデッキ部	カセットが入らない	逆向きに入れようとしていませんか。	
	テープが走行しない	一時停止ボタンを押していませんか。	
	テープが機械に巻きつく	※ピンチローラーやキャプスタンが汚れていませんか。 テープがたるんでいませんか。 カセットドアはきちんと閉まっていますか。	
		テープ走行が不安定	テープがたるんでいませんか。 乾電池が消耗していませんか。
		雑音がひどい、音が震える	乾電池が消耗していませんか。
	音飛びがする	※ヘッド部がよこれていませんか。 テープがたるんでいませんか。	
		録音ボタンが押せない	カセットが入っていますか。 カセットドアはきちんと閉まっていますか。 カセットの誤消去防止用ツメが折れていませんか。
	録音できない	※ヘッド部が汚れていませんか。	
	前の録音が完全に消去されない	※消去ヘッドが汚れていませんか。	
	テープの音が出ない	機能切替スイッチが別の機能になっていませんか。	

※ P14「お手入れ方法」を参考にクリーニングしてください。

お手入れ方法



- ※お手入れの際は、安全のため必ず電池や電源プラグを取り外してください。
- ※ベンジンやアルコール、シンナーなどではふかないでください。
- ※本体をいためる原因となります。
- ※電源コードのプラグにほこりがたまると、発火する危険があります。
- ※プラグをコンセントから抜いて時々清掃してください。
- ※本体を水で洗ったり、濡らしたり、水滴のかかる場所に置かないでください。

本体

- 乾いた布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水か、薄めた中性洗剤を布に含ませ、よくしぼってから拭いてください。
- その後、から拭きしてください。

ヘッド部

ヘッド部にほこりやゴミなどが付着すると音質劣化を招きます。定期的にヘッド部を清掃してください。

- カセットドアを開け、市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、下記部分のテープ走行面を掃除してください。
- 内部が充分に乾いてからテープをセットしてください。

カセット部内部(上面)



ヘッドの消磁を行うには市販の消磁器をお使いください。カセットタイプの消磁器をお使いになるときは、必ず再生ボタンのみを押し込んで消磁してください。詳しくはヘッド消磁器の説明書をご覧ください。

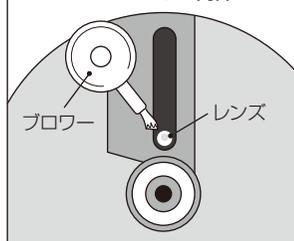
※消去ヘッドはマグネットタイプになっていますので消磁しないでください。

CDプレーヤーのレンズ

レンズの汚れは、音飛びなど正常な再生ができなくなる原因になります。

- 市販のプロワーを使って、ほこりやゴミなどをはき出してください。
- 万一指紋などが付いている場合は、市販のレンズクリーナーをお使いください。

CDプレーヤー内部



仕様

●受信周波数	(FM) 76~108MHz (AM) 522~1620	●消費電力	13W
●アンテナ	(FM) ロッドアンテナ (AM) フェライトバーアンテナ	●最大外形寸法	31×23×17cm
●トラック方式	ステレオ	●質量(乾電池を除く)	2.0kg
●スピーカー	7.6cm(2個)	●付属品	マイク、電源コード、 取扱説明書(保証書)
●出力端子	ヘッドホン端子(φ3.5mm)×1	●マイク	
●入力端子	マイク入力端子(φ3.5mm)×1	●出力インピーダンス	600Ω以下
●実用最大出力	1.5W+1.5W	●周波数特性	100~10KHz
●電源	AC100V 50/60HZ	●コード長	約2.5m
●電池持続時間	(テープ再生時) 約49時間 (CD再生時) 約25時間 (ラジオ再生時) 約68時間	※乾電池での連続使用時間の目安は、アルカリ乾電池使用(音量:中程度)の場合の目安です。乾電池の種類や使用状況によって異なります。	

アフターサービスについて

- 保証書は必ず「お買い上げ年月日」と「販売店名」等所定事項の記入及び記載内容をご確認の上、お買い上げの販売店からお受け取りください。
この取扱説明書をお読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。保証期間中に故障して修理を依頼される場合は、お買い上げの販売店まで保証書を添えて商品をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。
- 保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 製品に異常がある場合には、お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対にしないでください。
- アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店、または当社にお問い合わせください。

無償修理規定

保証期間内にお客様の正常なご使用状態の元で万一故障した場合には、当社所定の方法で無償修理をいたします。商品と保証書を添えてお買い上げの販売店までお持ちください。但し、次のような場合は保証対象外となり有償修理となります。

イ) 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷。 ロ) お買い上げ後の取扱過誤、落下及び輸送上の故障及び損傷。 ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障や損傷。 ニ) 接続する他の機器の異常により生じた故障及び損傷。 ホ) 一般家庭用以外(例えば業務用の長時間使用、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。 ヘ) 樹脂表面(フッ素樹脂加工も含む)及びメッキの磨耗や打痕による損傷。 ト) 保証書のご提出がない場合。 チ) 保証書にご購入年月日、お客様名、販売店欄の記入又は押印がない場合。

※改造または分解修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受け致しかねます。
 ※本製品の故障、又はその仕様によって生じた直接・間接的損害につきましては当社は責任を負わないものとします。
 ※保証修理の際、ご依頼品の送料、又はご持参される場合の諸費用はおお客様のご負担となります。
 ※保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。 ※保証書は日本国内のみにおいて有効です。
 ※保証期間経過後の修理などについて、詳しくはお買い上げの販売店までお問い合わせ下さい。

長年ご使用の音響機器の点検を!

ご使用の際
このようなことは
ありませんか?

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードに深いキズや変型がある。
- コゲくさい臭いがする。
- その他の異常、故障がある。

ご使用
中止

このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

保証書

CDステレオラジカセ

品名	CDステレオラジカセ	型番	CRXM01WH
お買い上げ日	年 月 日	保証期間	お買い上げから1年間
お客様	ご住所 〒		
	お名前	TEL.	
販売店	住所 〒		
	店名	TEL.	発売元:株式会社シー・ネット

印刷に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

発売元:株式会社シー・ネット
 大阪市中央区内淡路町2-4-11 スクエアコート内淡路5階
 TEL.06-4792-3185

マニュアルNo.: CRXM01WH-1411A